

第7回衛星開発・実証小委員会
議事要旨

1 日 時

令和3年5月18日（火）10:00～11:55

2 場 所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3 出席者

(1) 委 員

中須賀座長、片岡座長代理、石田委員、白坂委員、鈴木委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 松尾事務局長、岡村審議官、吉田参事官、中里参事官
文部科学省大臣官房 長野審議官、福井宇宙開発利用課長

4 議事要旨（○：意見等）

事務局から「各府省の衛星開発・実証プロジェクトに対する意見について」、資料1に基づいて説明が行われた。質疑応答について、以下の意見があった。

- 小型コンステレーションの構築に向けては、防災や安全保障など出口を明確にすることが重要。また、官が自ら開発するもの、民の開発をアンカーテナンシーで加速するもの、など官民の役割分担をしっかりと考えて、取り組む必要がある。
- 国際競争のスピード感を考えると、5年でやりきる覚悟を持ってスピード感を持って、取り組む必要。そのためには、最初からフルスペックではなく、まず最低限でも良いので、早く打ち上げて、実装しながら機能を向上させていくことが重要。
- 特に、国際競争のスピード感に対応するためには、「実証」ではなく、「実装」しながら技術をアップデートして最適化していくという考え方の転換が必要である。
- 出口戦略を考える上では、宇宙だけでできることは限られるので、他の分野も含めた全体のシステムの中で、宇宙の役割を考えていくことが重要。